



8月28日号にてお伝えした大型ハリケーン・ハービーによる大規模な洪水被害につきまして、現地では現在も深刻な状況が続いております。本号では、続報として現地の様子をお伝えいたします。

### 1. テキサス州ハリス郡化学プラント工場の爆発

テキサス州ハリス郡にあるフランスの化学会社アルケマの化学プラント工場で31日、2回の爆発が発生しました。同社は洪水の影響で停電となり、本来冷却保存されているプラント内の化学品が過熱状態となり爆発に至ったと説明しています。この爆発を受け、ハリス郡では工場の半径2.4キロメートル内の住民に避難を指示しています。

アルケマ社は「工場の複数個所に製品が保管されており、新たな爆発の危険性が残っている。近隣住民には、現地の緊急対策当局が安全確認を発表するまで、避難区域に戻らないよう求める」との声明を発表しています。

### 2. ヒューストンから東海岸へのガスパイプラインの被害

毎日ガソリン、ディーゼル燃料、航空燃料などを300万バレル以上輸送している米パイプライン運営大手コロニアル・パイプラインは、31日までにニューヨーク等の北東部への主要なパイプラインを停止すると発表しました。今回のハービーが湾岸に沿ってより壊滅的な洪水を引き起こしたため、13の石油精製所が閉鎖、いくつかは限定的に稼働している状況です。それを受け、主にディーゼル燃料と航空燃料を運ぶラインは水曜日の夕方に停止し、ガソリンを運ぶラインは減速して稼働している状況です。これらの影響は米国内のガソリン精製能力の約5分の1が停止したことに相当し、既に卸売価格が高騰しています。

### 3. 物流への影響

ガソリン卸売価格の高騰、被災地域への緊急支援物資の輸送により既に米国内のトラック輸送に影響が出ていますとされています。今後の復興需要により、さらに陸上輸送費用が高騰するなど輸送手段の確保が困難となる可能性があります。輸送能力の確保はサプライチェーン上の大きなファクターであり、今後の動向を注視していく必要があります。

### 4. 弊社にてご契約の貨物に損害があった場合のお問い合わせ先

万一、ハービーに関わる事故があった場合には、下記の弊社クレーム代理店、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡頂きますようお願い致します。

TM Claims Service Inc. (Los Angeles)  
800 East Colorado Boulevard Pasadena, California 91101, U.S.A  
Tel:(888)868-1870  
Fax:(626)796-5232  
代表アドレス: [cargo@tmclaimsservice.com](mailto:cargo@tmclaimsservice.com)



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)